

第3回 プラトン、アリストテレス

- | | | |
|------|--|-------------|
| 1 A | ソクラテスから深い影響を受け、彼の裁判にも立ちあい、その思想を継承してイデア論を展開した前4世紀ごろの哲学者は誰か。 | プラトン |
| 2 A | 魂の三分説や哲人政治など、理想国家について書かれたプラトンの作品を何というか。 | 『国家』 |
| 3 A | ソクラテスが「〜とは何か」と問いかけた事物の本質のことで、プラトンが事物がそれ自身であるための原型と語ったものを何というか。 | イデア |
| 4 B | プラトン哲学において現象界の事物の原型や魂のような、永遠で完全なものの存在する世界を何というか。 | イデア界(叡知界) |
| 5 B | 叡知界に対する現実界のことで、イデアを分けもつことによって個物が個物となる不完全で有限な世界を何というか。 | 現象界 |
| 6 A | これによってすべての存在物が存在し、すべての存在物がこれを目的としているイデアのなかのイデアを何というか。 | 善のイデア |
| 7 C | 現象界に住むわれわれは、洞窟のなかでその壁に映し出される外の世界の影を真実の存在だと思っていて生きている囚人のようなものだという、イデアと現象の関係を喩えたプラトンの比喩を何というか。 | 洞窟の比喩 |
| 8 B | 人間の魂は肉体と一緒にになって不完全なものとなったが、現象界の美しいものや善いものの一部を見ることを契機として、かつてともにいた真実在(イデア)を思い出すというプラトンの考えを何というか。 | 想起(アナムネーシス) |
| 9 A | 完全で永遠なもの(イデア)を憧れる情熱のことで、キリスト教の完全なもの(神)からの愛であるアガペーと比較される真理への愛を何というか。 | エロース |
| 10 A | 人間の魂には真理の認識にかかわる部分と、行為や決断にかかわる部分と、感覚や感情にかかわる部分がある、というプラトンの靈魂観を何というか。 | 魂の三分説 |
| 11 A | 動物と人間とを画然と区別する、ことばを用いて論理的に思考する能力のことで、プラトンではイデアの認識にかかわる、魂の不死なる部分とされているものを何というか。 | 理性 |
| 12 A | プラトンが行為や決断にかかわる、魂の可死なる部分としたものを何というか。 | 気概 |
| 13 A | プラトンが感覚や感情にかかわる、魂の可死なる部分としたものを何というか。 | 欲望 |
| 14 A | プラトンの魂の三つの部分と関連する四つの徳を何というか。 | 四元徳 |
| 15 A | 魂の三分説において理性・気概・欲望の徳を、それぞれ何というか。 | 知恵・勇気・節制 |
| 16 A | 魂の三分説において理性・気概・欲望の徳が調和したときに実現する徳を何というか。 | 正義 |
| 17 A | 魂の三分説と四元徳の考え方から導かれた、プラトンの調和のとれた美しい国を何というか。 | 理想国家 |
| 18 A | プラトンの国家論で、理性にすぐれ知恵の徳をもつ人によって構成される階級を何というか。 | 統治者階級 |
| 19 A | プラトンの国家論で、気概にまさり勇気の徳をもつ人によって構成される階級を何というか。 | 防衛者階級 |
| 20 A | プラトンの国家論で、欲望がまさり節制の徳を必要とする人によって構成される階級を何というか。 | 生産者階級 |
| 21 A | 理想国家は、哲学者が統治するか統治者が哲学するかによって実現するという、プラトンの政治論を何というか。 | 哲人政治(哲人王思想) |
| 22 A | プラトンの思想のように、事実よりも究極的な価値を重んじ、現実よりも理想に重きをおく思想的立場を何というか。 | 理想主義 |
| 23 A | 前4世紀ごろ、アテネ郊外にたてられたプラトンの学園を何というか。 | アカデメイア |
| 1 A | 青年時代から20年間アカデメイアに学ぶが、のち師のイデア論を批判して独自の学説をたて、万学の祖とよばれた前4世紀ごろのマケドニアの哲学者は誰か。 | アリストテレス |

2 B	存在の根拠や形相(エイドス)・質料(ヒュレー)について語られた,「自然学の後におかれた学問」という意味をもつアリストテレスの著書を何というか。	『形而上学』
3 A	アリストテレスが自分の息子のために,善きポリスの市民としていかに生きるべきかについて記した書物を何というか。	『ニコマコス倫理学』
4 C	「人間はポリスの動物である」ということばを記し,ポリスのあるべき姿を描いたアリストテレスの作品を何というか。	『政治学』
5 A	アリストテレスの認識論で,個物に内在するそのものの本質で,素材を限定して現実的なものとする事物の原型を何というか。	形相(エイドス)
6 A	アリストテレスの認識論で,銅像の素材が銅であるように,個物の材料を意味し,形相(エイドス)と対をなす概念を何というか。	質料(ヒュレー)
7 B	ある素材(質料)が目的(形相)に向かう変化の過程において,素材がもつ完成への可能性を秘めたあり方を何というか。	可能態
8 C	完成への可能性をもった質料(ヒュレー)が,形相(エイドス)を得て目的を達成したときにいたる具体的なあり方を何というか。	現実態
9 A	学問や学習によってえられる卓越性で,理論的知である知恵と実践的知である思慮の二つの側面をもつ徳(アレテー)を何というか。	知性的徳
10 B	アリストテレス倫理学の知性的徳のうち,行為の正しさにかかわる実践的な徳を何というか。	思慮(フロネーシス)
11 A	アリストテレス倫理学において思慮によって正しいとされた行為が,習慣(エトス)によって性格(エートス)となったときに成立する徳を何というか。	習性的徳(倫理的徳)
12 A	アリストテレス倫理学では,思慮が時や場所や相手や場合などに応じて適切だと判断した,片寄りのない行為のあり方を何というか。	中庸(メソテース)
13 A	人間は国家を離れて存在できず,そのなかでこそ本来のあり方をえられるのだという,アリストテレスの人間観をしめすことばは何というか。	「人間はポリスの動物である」
14 A	アリストテレス倫理学における人と人とが相互にあたえあうことのできる愛情で,正義とともに国家成立の重要な要因となっている習性的徳を何というか。	友愛(フィリア)
15 A	アリストテレスの正義論で働きや能力に応じて名誉や報酬があたえられるような正義のあり方を何というか。	配分的正義
16 A	アリストテレスの正義論で売買行為や犯罪行為のように,利害得失の調整をはかることを目的とした正義のあり方を何というか。	調整的正義
17 C	人間は誰でも善さを求めて生きているが,他の善さの手段とはならず,最終的な目的となっている最高善をアリストテレスは何とよんだか。	幸福(エウダイモニア)
18 A	人間の卓越性である理性にしたがって真理のみをみつめる,自足的で幸福な生活をアリストテレスは何とよんだか。	観想(テオーリア)的生活
19 C	ひとりの人間による支配体制のうち,望ましい政治形態をアリストテレスは何とよんだか。	王制(君主制)
20 C	ひとりの人間による支配体制のうち,その墮落形態をアリストテレスは何とよんだか。	僭主制(独裁制)
21 C	少数者による支配体制のうち,望ましい政治形態をアリストテレスは何とよんだか。	貴族制
22 C	少数者による支配体制のうち,その墮落形態をアリストテレスは何とよんだか。	寡頭制
23 B	多数者の支配体制のうち,望ましい政治形態をアリストテレスは何とよんだか。	共和制
24 C	多数者による支配体制のうち,その墮落形態をアリストテレスは何とよんだか。	衆愚制
25 A	アリストテレスの思想のように,眼前の事実を重んじ,理想よりも現実を重視しようとする思想的立場を何というか。	現実主義
26 C	アテネ郊外にたてられたアリストテレスの学園を何というか。	リュケイオン

1 A	アレキサンドロス大王の東方遠征以後に生まれた、オリент文明とギリシア文明の融合文化に由来する「ギリシア風」という意味のことばを何というか。	ヘレニズム
2 B	アレキサンドロス大王の東征以後、ポリスの崩壊にともなって生まれた、ポリスを越えた市民という意味のことばを何というか。	世界市民(コスモポリテース)
3 A	人生の目的は快楽であり、魂に煩わしさのない境地が理想であると説いた前4～3世紀の哲学者は誰か。	エピクロス
4 A	ヘレニズム期に、人生の目的を快楽に求めた学派を何というか。	エピクロス派
5 B	人生の目的は快楽であり、快楽は善であるという思想を何というか。	快楽主義
6 A	エピクロス派の人びとが求めた理想の境地で、瞬間的・肉体的な快楽でない永続的・精神的な快楽である、魂に煩わしさのない平静心を何というか。	アタラクシア
7 B	平静心を乱す政治的・公共的生活からは離れて生きることを説いた、エピクロス派の人びとの生活信条をしめすことばは何というか。	「隠れて生きよ」
8 A	世界理性の支配する自然にしたがって生きること、そしてそのためには情念を抑えることを説いた前4～3世紀の哲学者は誰か。	ゼノン
9 A	ゼノンを開祖とする学派を何というか。	ストア派
10 A	ストア派のように、欲望を抑制することを正しいと考える思想を何というか。	禁欲主義
11 A	ストア派の人々が求めた、外的な刺激や快苦などによってまどわされない、情念が抑制された境地を何というか。	アパテイア
12 B	ストア派が語る自然界を貫いている神の摂理であり、人間の本性もそれを分けもつことによって人間となる理法のことを何というか。	世界理性(ロゴス)
13 B	自然を貫く理法は人間をも貫いていることから、理性にしたがって生きることと同じ意味をもつ、ストア派が理想とする生活信条を何というか。	「自然にしたがって生きる」
14 C	前1世紀の奴隷出身の哲学者で、後期ストア派の代表的思想家は誰か。	エピクテトス
15 C	エピクテトスの影響を受けて内面的思索を重んじたストア派の哲学者で、ローマ皇帝でもあった人物は誰か。	マルクス＝アウレリウス
16 C	ストア派の思想を今日によく伝えているマルクス＝アウレリウスの著作を何というか。	『自省録』